登録No.　S-118
登録名　dose-dense EC療法
催吐性リスク　高度
適応疾患　乳癌
投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ0.75mgﾊﾞｯｸﾞ デキサメタゾン ホスネツピタント	50mL/body 9.9mg/body 235mg/body		d1	d.i.v.	30min	輸液総量の1.8倍量をDrip-eyeに設定 ペグフィルグラスチム併用
Rp.2	エピルビシン 注射用蒸留水 生食	90mg/m^2 20mL/body 30mL/body		d1	d.i.v.	全開	注射用水20mLで溶解
Rp.3	生食	100mL/body		d1	d.i.v.	全開	エピルビシン・シクロホスファミド 前後フラッシュ用
Rp.4	シクロホスファミド 生食	600mg/m^2 250mL/body		d1	d.i.v.	60min	

1クールの期間　2週間
標準クール数　4クール
最大クール数
休薬期間の規定
投与間隔短縮の規定
その他（副作用・PS規定等）　PS：0-1
副作用：骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、味覚異常、下痢・便秘、脱毛、倦怠感、心機能障害など
・心毒性あり。エピルビシンの総投与量は900mg/m^2まで。
・他のアントラサイクリン投薬歴のある場合はエピルビシンの総投与量650mg/m^2までOKだが、限界投与されている場合は禁忌。
※ペグフィルグラスチム併用（EC療法施行、24時間以降72時間以内）
更新：2024.4.16 制吐薬適正使用ガイドライン改訂に伴い制吐剤変更